

科目名	ヘルスプロモーション展開論 (Health Promotion)		開講学科	看護学科
選択区分	選択	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)	履修時期
				4 年次前期・後期
担当教員	入野 了士、野村 美千江、田中 美延里、窪田 志穂		科目区分	専門科目
授業概要	人々の生活と健康を継続的にアセスメントし、地域特性や顕在的・潜在的な健康課題を見出す過程、健康課題に対する支援を計画・立案する過程、活動を展開し評価する過程について、砥部町のヘルスプロモーション活動等を基に教授する。また、事業の企画立案の考え方が理解できることを目指す。			
授業目標	1. 個人や地域の健康課題に対する支援を計画・立案する過程を説明することができる。 2. 保健福祉活動を展開し評価する過程（各事業のPDCA）を説明できる。 3. 担当した地区のニーズに応じた事業を企画立案評価の過程を理解できる。			

授業内容

回	項目	内容	担当者	
1	ヘルスプロモーションとは	ヘルスプロモーションの考え方 自治体におけるヘルスプロモーション活動	入野了士 野村美千江 田中美延里 窪田志穂	
2～3	砥部町のヘルスプロモーション活動の実際 — 支援計画の立案・実施・評価の過程 (PDCA)	① 砥部町保健センターを拠点としたヘルスプロモーション自治体として住民の健康を守る施策と体制 ② 町内地区の健康課題の明確化と保健活動計画立案 住民の声を活かした地域アセスメントと事業立案 ③ 砥部町高齢者の生活実態・健康課題と施策 地区の保健活動における PDCA ④ 砥部町社会福祉協議会を拠点とした住民力活用 地域の社会資源を有効に活用した地域福祉活動		
4	地域アセスメントにおける二次資料の活用	地域アセスメントの目的と方法、二次資料を活用した量的・質的データの統合から計画へ ○ 既存資料・県や町のHP・保健統計・各種調査・国保医療費・健診結果等をまとめた実習報告書を精読し、町全体の診断結果から地区へ介入するイメージをもつ。		
5～6	地区のアセスメント (演習)	○ 担当地区のデータの統合と資料化 ○ 地区踏査の準備 ○ 健康課題の分析		
7～8	健康と生活に関するデータの収集と判断 地区アセスメントの充実	○ 地区データベースに必要な質的情報の収集 ○ 既存資料からのデータと新たに把握したデータの整理 ○ 量的データと質的データの関係性とその考察		
9～10	社会システムへの働きかけ	○ 出前型健康教育を主とした受持ち地区への働きかけ ○ 働きかけ直後の評価		
11～15	公衆衛生看護活動の評価	実習地区を対象とした公衆衛生看護活動のまとめ ○ 地区診断・計画・健康教育の結果評価 ○ 地区住民と施設責任者への結果フィードバック		
成績評価方法	個人学習の成果評価 50%、グループ学習の成果評価 50%			
教科書	佐伯和子編「公衆衛生看護技術（公衆衛生看護学テキスト2）」（医歯薬出版） 厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標 2017/2018」			
参考書	○ 宮内清子「保健師の基軸をつくる公衆衛生看護キーワード・ナビ」（インターメディカル） ○ 島内憲夫翻訳「ヘルスプロモーション—WHO:オタワ憲章(21世紀の健康戦略)」（垣内出版） ○ L.W. Green 著・神馬征峰翻訳「実践ヘルスプロモーション—PRECEDE - PROCEED モデルによる企画と評価」（医学書院） ○ 医療情報科学研究所編「病気がみえる vol. 2 循環器 第3版」（メディックメディア） ○ 「病気がみえる vol. 3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版」（メディックメディア）			
備考	1～10回は前期、11～15回は後期に開講			